

第1学年

令和元年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸科第二部

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年 -
科目名	東洋医学概論Ⅱ	曜日・時間	土曜日・1時限

【授業概要・目標】
 東洋医学とはどういうもので、どのような歴史を持っているかを知ってもらい、東洋医学について興味関心を持ってもらう。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学とは	1	後期ガイダンス,日本医学史④
2	東洋の医学①	2	後期ガイダンス,日本医学史④
3	東洋の医学②	3	日本医学史⑥
4	東洋の医学③	4	日本医学史⑦
5	東洋の医学④	5	日本医学史⑧
6	中間テスト(予定)	6	中間テスト(予定)
7	中国医学史①	7	テスト解説,古典医学文献序
8	中国医学史②	8	古典医学文献①
9	中国医学史③	9	古典医学文献②
10	中国医学史④	10	古典医学文献③
11	中国医学史⑤、日本医学史序	11	古典医学文献④
12	日本医学史②	12	古典医学文献⑤
13	日本医学史③	13	古典医学文献⑥
14	前期の復習	14	古典医学文献の復習
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	中間+期末/2したものを点数とするが、授業態度、出席点も考慮する。
授業の進め方	基本はプリントを配布。パワーポイント及び板書にて進める。
注意(学生に望むこと)	体調管理は常に行い、休んだ場合はきちんとクラスメイトに確認を取ること。
使用テキスト・参考書	参考図書: 適宜授業内で紹介する。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	鍼灸基礎実技Ⅰ	曜日・時間	土曜日・3時限

【授業概要・目標】

(1) 施術上の基礎知識を理解する。(2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	前期実技試験の復習
2	講義：施術上の注意 実技：鍼の基本実技(1)	2	前期実技試験の復習
3	講義：消毒法について 実技：灸の基本実技(1)	3	灸の基本実技(7)
4	講義：はりの基礎知識 実技：鍼の基本実技(2)	4	鍼の基本実技(8)
5	講義：きゅうの基礎知識 実技：灸の基本実技(2)	5	灸の基本実技(8)
6	鍼の基本実技(3)	6	鍼の基本実技(9)
7	灸の基本実技(3)	7	灸の基本実技(9)
8	鍼の基本実技(4)	8	鍼の基本実技(10)
9	灸の基本実技(4)	9	灸の基本実技(10)
10	前期中間実技試験	10	後期中間試験
11	鍼の基本実技(5)	11	鍼の基本実技(11)
12	灸の基本実技(5)	12	灸の基本実技(11)
13	鍼の基本実技(6)	13	鍼の基本実技(12)
14	灸の基本実技(6)	14	灸の基本実技(12)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	実技試験(70%) + 小テスト(10%) + 実技課題(10%) + 中間実技試験(10%) で評価
授業の進め方	(1) 講義30分(小テスト含む)と実技60分のペースで授業をしていく予定です。(2) 毎回、実技課題と小テストを行います。
注意(学生に望むこと)	(1) 実技練習は授業時間だけでなく、毎日家などで必ず練習してください。(2) 授業中は態度・言葉遣い・白衣着用・身なりに気を付け、教室の整理整頓を行ってください。
使用テキスト・参考書	テキスト：『はりきゅう理論』『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編) 参考書：『マンガ鍼灸臨床インシデント』(医道の日本社)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部 1年 -
科目名	手技療法 I	曜日・時間	土曜日・2時限

【授業概要・目標】
教科書を基礎にして基本手技を身につけ、反復練習することにより、全身施術ができることをめざします。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	あんま 基本手技	1	マッサージ 歴史・基本手技
2	基本手技	2	マッサージ 歴史・基本手技
3	肩背腰部	3	前腕→上腕
4	頸部 背腰部	4	下肢部 足趾→下腿→大腿
5	肩背腰部（坐位）	5	背腰部 臀部
6	肩背腰部（伏臥位）	6	背腰部 頸部
7	上肢部	7	胸部
8	下肢部	8	腹部
9	頭部 胸腹部	9	顔面
10	復習しながら全身施術	10	関節のマッサージ
11	復習しながら全身施術	11	各部位の復習
12	復習しながら全身施術	12	マッサージで全身施術
13	実技テスト	13	実技テスト
14	実技テスト・ペーパーテスト	14	実技テスト・ペーパーテスト
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	基本手技がきちんとできているのかどうか、手技が身体、筋肉を正しくとらえているかなどをみます
授業の進め方	教科書を中心にして技術の向上をめざします
注意（学生に望むこと）	自己流にならず、基本手技を正しく受け入れて下さい
使用テキスト・参考書	『あんまマッサージ指圧実技（基礎部）』（医道の日本社）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年 -
科目名	衛生学・公衆衛生学	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】

公衆衛生学は、健康の維持・増進および疾病の予防を目指す学問であり、疾病の発生要因を社会との関連から追求し、その予防対策を立てることを目指している。本講でも、生活習慣病やがんを中心に、疾病の発生要因について基本的な知識を学びつつ、予防について考えてみたい。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	健康の定義	1	感染症総論1：感染症と病原体
2	寿命と健康寿命	2	感染症総論1：感染症と病原体
3	ライフスタイルと健康	3	感染症各論1
4	生活習慣病とその起源	4	感染症各論2
5	人口構造の変化	5	環境衛生学総論
6	日本の死因	6	環境衛生学（水、大気など）
7	がんの疫学	7	環境衛生学（物理的環境）
8	がんの生物学	8	環境衛生学（化学的環境）
9	がんの予防と治療	9	精神保健
10	生活習慣病総論	10	栄養と健康
11	糖尿病の疫学予防	11	運動と健康
12	血管疾患の疫学と予防	12	母子保健・学校保健
13	食中毒総論	13	産業労働衛生学・職業病
14	食中毒各論	14	産業保健統計・疫学
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	定期筆記試験の比重を90%以上とし、講義中に行うミニットペーパー（講義に対する理解を確認するミニレポート）を若干考慮する。
授業の進め方	講義形式を中心に構成し、自由記載のミニレポートを必要に応じて実施し、自ら記述することで知識の習得を目指す。
注意（学生に望むこと）	質問など積極的な参加を期待する。
使用テキスト・参考書	教科書を用いるが、日頃の身の回りの情報にも関心をもって接してもらいたい。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	経絡経穴概論 I	曜日・時間	金曜日・2時限

【授業概要・目標】

経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、骨度等を総合的に学習する。経穴 361 穴暗唱。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション（授業・試験について）経絡経穴の基礎	1	後期授業の進め方、背部の経穴名と取穴部位（筋枝）
2	〃	2	後期授業の進め方、背部の経穴名と取穴部位（筋枝）
3	流注と経穴名（肺経・大腸経）	3	上腹部の経穴名と取穴部位（筋枝）
4	流注と経穴名（胃経・脾経）	4	下腹部の経穴名と取穴部位（筋枝）
5	流注と経穴名（心経・小腸経）	5	肩部・頸部・上腕の経穴名と取穴部位（筋枝）
6	流注と経穴名（膀胱経）	6	前腕部・手部の経穴名と取穴部位（筋枝）
7	流注と経穴名（腎経・心包経）	7	中間テスト
8	流注と経穴名（三焦経・胆経）	8	復習 1
9	流注と経穴名（肝経・督脈・任脈）	9	下腿部の経穴名と取穴部位（筋枝）
10	奇経八脈とその流注	10	大腿部・足部の経穴名と取穴部位（筋枝）
11	骨度法	11	顔面部の経穴名と取穴部位（筋枝）
12	〃	12	頭部の経穴名と取穴部位（筋枝）
13	復習	13	復習 2
14	前期試験の注意事項	14	後期試験の注意事項
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席および試験（定期試験・確認小テスト・経穴暗唱）の結果を総合的に評価する。
授業の進め方	教科書『経絡・経穴概論』を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
注意（学生に望むこと）	毎回経穴小テスト（経穴暗唱を含む）を行う。
使用テキスト・参考書	『経絡・経穴概論』医道の日本社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	自然科学概論	曜日・時間	月曜日・1時限

【授業概要・目標】

1. ヒトの生物学的な特徴を理解する。2. ヒトの体を生化学と分子から理解する。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	ヒトとは？① ヒトと他の生物の違い、人類の出現と進化	1	
2	ヒトとは？② ホモ・サピエンスの誕生と拡散	2	
3	細胞の構造と生命誕生① 細胞内小器官、細胞骨格、細胞膜	3	
4	細胞の構造と生命誕生② 生物の誕生、生物の分類、ウイルスとは？	4	
5	生命体を構成する物質① タンパク質、糖質	5	
6	生命体を構成する物質② 脂質、核酸、ビタミンとミネラル	6	
7	生体とエネルギー① 代謝とは？酵素、ATP	7	
8	生体とエネルギー② 糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝	8	
9	遺伝子の構造と機能① DNA・遺伝子・ゲノムとは？DNAの複製	9	
10	遺伝子の構造と機能② 遺伝子の転写とその制御、翻訳	10	
11	遺伝子の構造と機能③ DNAの変異による病気、体質	11	
12	細胞の分裂・情報伝達・がん化、細胞分裂の仕組み、がんとは？	12	
13	生体防御機構、自然免疫と獲得免疫	13	
14	総復習	14	
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	試験
授業の進め方	教科書、スライドで教科書の内容を補足する。
注意（学生に望むこと）	丸暗記するのではなく理解すること。わからないことは積極的に質問する。配布したプリントは紛失しないようファイルする
使用テキスト・参考書	やさしい基礎生物学 第2版 羊土社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	中国語	曜日・時間	火曜日・1時限

【授業概要・目標】
 中国語の普通話を学ぶ。ピンイン（発音記号）・簡体字などを習得し、文法を理解した上で、簡単な会話を話せるようになる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	ガイダンス（中国語とは何か）	1	前期の復習
2	第一課	2	前期の復習
3	第二課	3	第十課（練習）、第十一課（本文）
4	第三課	4	第十一課（ポイント、練習）
5	第四課	5	第十二課（本文、ポイント）
6	発音のチェック、本文編ガイダンス	6	第十二課（練習）、第十三課（本文）
7	第五課（本文、ポイント）	7	第十三課（ポイント、練習）
8	第五課（練習）、第六課（本文）	8	第十四課（本文、ポイント）
9	第六課（ポイント、練習）	9	第十四課（練習）、第十五課（本文）
10	第七課（本文、ポイント）	10	第十五課（ポイント、練習）
11	第七課（練習）、第八課（本文）	11	第十六課（本文、ポイント）
12	第八課（ポイント、練習）	12	第十六課（練習）、第十七課（本文）
13	第九課（本文、ポイント）	13	第十七課（ポイント、練習）
14	第九課（練習）、本文編の復習	14	後期の復習
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	期末試験 授業中の発表・課題提出
授業の進め方	テキストを中心に進める。
注意（学生に望むこと）	積極的に授業に参加すること。
使用テキスト・参考書	相原茂ほか『日中いぶこみ交差点-エッセンシャル版』（朝日出版社、2019）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	解剖学Ⅰ	曜日・時間	木曜日・2時限

【授業概要・目標】
解剖学（内臓学）についての知識を学習する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	人体の構成総論	1	消化器系-1
2	運動の表し方/器官系総論	2	消化器系-1
3	人体の構成-1	3	消化器系-3
4	人体の構成-2	4	消化器系-4
5	人体の構成-3	5	消化器系-5
6	循環器系-1	6	泌尿器系-1
7	循環器系-2	7	泌尿器系-2
8	循環器系-3	8	生殖器系-1
9	循環器系-4	9	生殖器系-2
10	循環器系-5	10	生殖器系-3
11	呼吸器系-1	11	生殖器系-4
12	呼吸器系-2	12	内分泌系-1
13	前期総まとめ	13	内分泌系-2
14	前期復習	14	後期復習
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験
授業の進め方	パワーポイントを使用しながら見て理解する。
注意（学生に望むこと）	
使用テキスト・参考書	

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年 -
科目名	解剖学Ⅱ	曜日・時間	月曜日・2時限

【授業概要・目標】

筋系、神経系および感覚器系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	神経系総論・脊髄	1	筋系総論
2	延髄・橋・中脳	2	筋系総論
3	小脳・間脳・大脳（1）	3	頸部の筋
4	大脳（2）・脳室系等	4	胸部の筋
5	脊髄神経総論	5	腹部の筋・会陰筋
6	頸神経叢・腕神経叢	6	背筋
7	肋間神経・腰神経叢	7	上肢の筋（1）
8	仙骨神経叢（1）	8	上肢の筋（2）
9	仙骨神経叢（2）・脳神経総論	9	上肢の筋（3）
10	脳神経各論（1）	10	下肢の筋（1）
11	脳神経各論（2）	11	下肢の筋（2）
12	脳神経各論（3）・自律神経系	12	下肢の筋（3）
13	伝導路・感覚器系	13	下肢の筋（4）
14	神経系と感覚器系のまとめ	14	筋系のまとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席と前期試験および後期試験の成績による。
授業の進め方	板書、配布資料
注意（学生に望むこと）	体の構造と機能の理解を深める。
使用テキスト・参考書	教科書、配布資料

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	解剖学Ⅲ	曜日・時間	水曜日・1時限

【授業概要・目標】

解剖学用語を覚えると同時に、人体の各部の位置、役割を理解する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション／総論-1	1	骨・筋復習
2	総論-2・全身の骨格	2	骨・筋復習
3	上肢の骨格・関節-1	3	全身の動静脈-2
4	上肢の骨格・関節-2	4	全身のリンパ・神経-1
5	上肢の骨格・関節-3	5	全身のリンパ・神経-2
6	下肢の骨格・関節-1	6	体幹の局所解剖-1
7	下肢の骨格・関節-2	7	体幹の局所解剖-2
8	下肢の骨格・関節-3	8	上肢の局所解剖-1
9	脊柱の骨-1	9	上肢の局所解剖-2
10	脊柱の骨-2・仙骨	10	下肢の局所解剖-1
11	胸部の骨	11	下肢の局所解剖-2
12	頭蓋骨-1	12	頭頸部の局所解剖-1
13	頭蓋骨-2	13	頭頸部の局所解剖-2
14	骨総復習	14	総復習
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	筆記試験、小テスト、出席(授業態度含む)などの総合評価
授業の進め方	課題と教科書を中心に授業を行い、小テストで理解を深めるようにすすめる。
注意（学生に望むこと）	教科書・絵図だけではなく、人体で理解できるようにする。
使用テキスト・参考書	「解剖学 第2版」医歯薬出版株式会社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部 1年 -
科目名	生理学 I	曜日・時間	火曜日・2時限

【授業概要・目標】

施術者として必要な人体の機能について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。構造と機能との関連、病態生理に関する内容をも含め指導する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	生理学の基礎・概論	1	消化と吸収①
2	細胞の構造と機能①	2	消化と吸収①
3	細胞の構造と機能②	3	消化と吸収③
4	物質代謝・移動	4	消化液①
5	血液の組成と働き①	5	消化液②
6	血液の組成と働き②	6	その他消化と吸収
7	止血・血液型	7	食品と栄養素
8	心臓血管系①	8	各栄養素の働きと代謝
9	心臓血管系②	9	体温調節
10	血液循環	10	腎臓の働き①
11	呼吸器①	11	腎臓の働き②
12	呼吸器②	12	尿生成
13	呼吸運動とその調節①	13	腎臓と体液の調節①
14	呼吸運動とその調節②	14	腎臓と体液の調節②
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験によるその他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	2年次・3年次の教科の基礎になる科目なので、予習復習を怠らないこと
使用テキスト・参考書	生理学

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年 -
科目名	生理学Ⅱ	曜日・時間	水曜日・2時限

【授業概要・目標】
生命現象がどのように行われるか内分泌、神経、免疫によって説明することが

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	生理学概論・内分泌Ⅰ	1	内蔵の自律神経性調節Ⅳ
2	内分泌Ⅱ	2	内蔵の自律神経性調節Ⅳ
3	内分泌Ⅲ	3	筋Ⅰ
4	生殖	4	筋Ⅱ
5	成長と老化	5	運動Ⅰ
6	神経Ⅰ	6	運動Ⅱ
7	神経Ⅱ	7	運動Ⅲ
8	神経Ⅲ	8	感覚Ⅰ
9	神経Ⅳ	9	感覚Ⅱ
10	神経Ⅴ	10	感覚Ⅲ
11	内蔵の自律神経性調節Ⅰ	11	生体の防御機構Ⅰ
12	内蔵の自律神経性調節Ⅱ	12	生体の防御機構Ⅱ
13	内蔵の自律神経性調節Ⅲ	13	身体活動の協調
14	前期まとめ	14	後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による、その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
使用テキスト・参考書	生理学第3版 東洋療法学校協会編

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部1年
科目名	東洋医学概論 I	曜日・時間	木曜日・1時限

【授業概要・目標】

前期の授業では、東洋医学の特徴、陰陽学説、五行学説、生体物質について学ぶ。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	後期の授業では、各臓象の生理・病理を中心に学ぶ。1年間を通じて、治療の基礎となる東洋医学の考え方を身につける。	1	神の概念・生理・病理
2	人体の見方 東洋医学的治療	2	神の概念・生理・病理
3	日本の東洋医学の現状	3	蔵象学説、肝の生理と病理
4	陰陽学説	4	胆の生理と病理、肝と関係のある奇恒の腑
5	五行学説①	5	心の生理と病理
6	五行学説②	6	小腸の生理と病理、心と関係のある奇恒の腑
7	生体物質<精の生理・病理>	7	脾の生理と病理
8	生体物質<精の生理・病理>	8	胃の生理と病理
9	生体物質<気の病理>	9	肺の生理と病理
10	生体物質<気の病理>	10	大腸の生理と病理
11	生体物質<血の生理・病理>	11	腎の生理と病理
12	生体物質<津液の生理・病理>	12	膀胱の生理と病理、腎と関係のある奇恒の腑
13	生体物質の相互関係	13	三焦
14	前期まとめ	14	後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	聞き慣れない言葉や概念が多く出てくるので、教科書を何度も読み込むことをしてほしい
使用テキスト・参考書	新版『東洋医学概論』 医道の日本社

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸科二部1年
科目名	臨床実習	曜日・時間	—・—

【授業概要・目標】

①患者への接遇ができる。②基本的な施術準備ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	身だしなみ・参加意欲・実習生同士の協調性・患者接遇などを総合的に評価する。
授業の進め方	指導教員の施術見学、施術所の環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし